

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫
両団体理事長 半 田 晴 久
交通部会長 松 本 治 男
専務理事 清 原 淳 平

交通部会のお知らせ (第262回)

日時 平成30年6月26日(火) 午後1時半～3時半
場所 参議院議員会館 地下1階 B108会議室
千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「B108会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議題
- 1、最近の交通情勢について
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
 - 2、改正道路交通法の施行後1年の状況について
 - 3、自転車活用推進計画について
 - 4、交通事故統計(5月中及び6月25日まで)
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報告 去る5月29日開催の第261回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について思う」と題して開会挨拶がありました。昨日90歳のおばあさんが、信号が赤と解かっているながら交差点に進入して、事故を起こした。57歳の女性が死亡し、3名が軽傷であった。高齢ドライバー対策として、警察はサポカー(安全運転サポート車)免許の導入の検討や、免許返上の促進活動を行っている。先日、交通事故遺族に取材したドキュメンタリー番組を見た。事故死者だけでなく、残された遺族の悲しみを見て、一件でも交通死亡事故

を減らさなければならぬと決意を新たにした。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐（警視）より、「自動二輪車等に係る駐車環境の整備の推進」について解説がありました。自動二輪車の駐車場が不足しているため、駐車環境の整備の推進を図るために通達をだした。具体的には駐車スペースを整備するような働きかけや、駐車規制の緩和の検討などを行っていく。

次に、「第二種免許制度等の在り方に関する有識者会議の開催」について解説がありました。第二種免許とは、旅客自動車運送事業、すなわちタクシー・バスなどが該当する。現在、第二種免許は21歳以上かつ普通免許保有3年以上の者に受験資格がある。創設の経緯は、昭和30年代に相次いだ旅客自動車による交通事故の激増であった。しかし現在、これらの免許保有者の高齢化が問題となり、人材不足が指摘されるようになった。そこで、年齢要件と保有資格と過失による交通事故発生状況との相関関係を調査し、引き下げを検討していく。

次に、「交通事故統計（4月末）」について、解説がありました。4月末までの1日平均死者数は、9.3人と、10人を下回る好成績となっている。負傷者数も前年同期比-9.1%である。このままいけば、年死亡者数3,650人を下回るという目標が達成できる可能性もでてきた。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出された。◎このところ首都圏などでシェアサイクルが増加している。これは自転車数の減少につながり、駐車場不足の面からいうと助かっているのではないか。◎国内自動二輪車販売数は減少している。これは駐車場不足と電動アシスト自転車販売の好調に原因があるように思う。◎二種免許制度の見直しも自動二輪車の駐車規制の緩和も、事故との兼ね合いをよく考えて決めなければいけない。◎「自動二輪の駐車取り締まりがなくなる」などと誤解されているので、丁寧に説明をするべき。などの意見が出た。

★ 資料代 会員500円
次回、6月26日（火）の交通部会（参）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛 F A X 03-3507-8587

御芳名 _____

貴方様の F A X _____ 電話 _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。
非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。
（その際の会費は二千元となります。）

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール kiyohara@jidaisassin.jp